

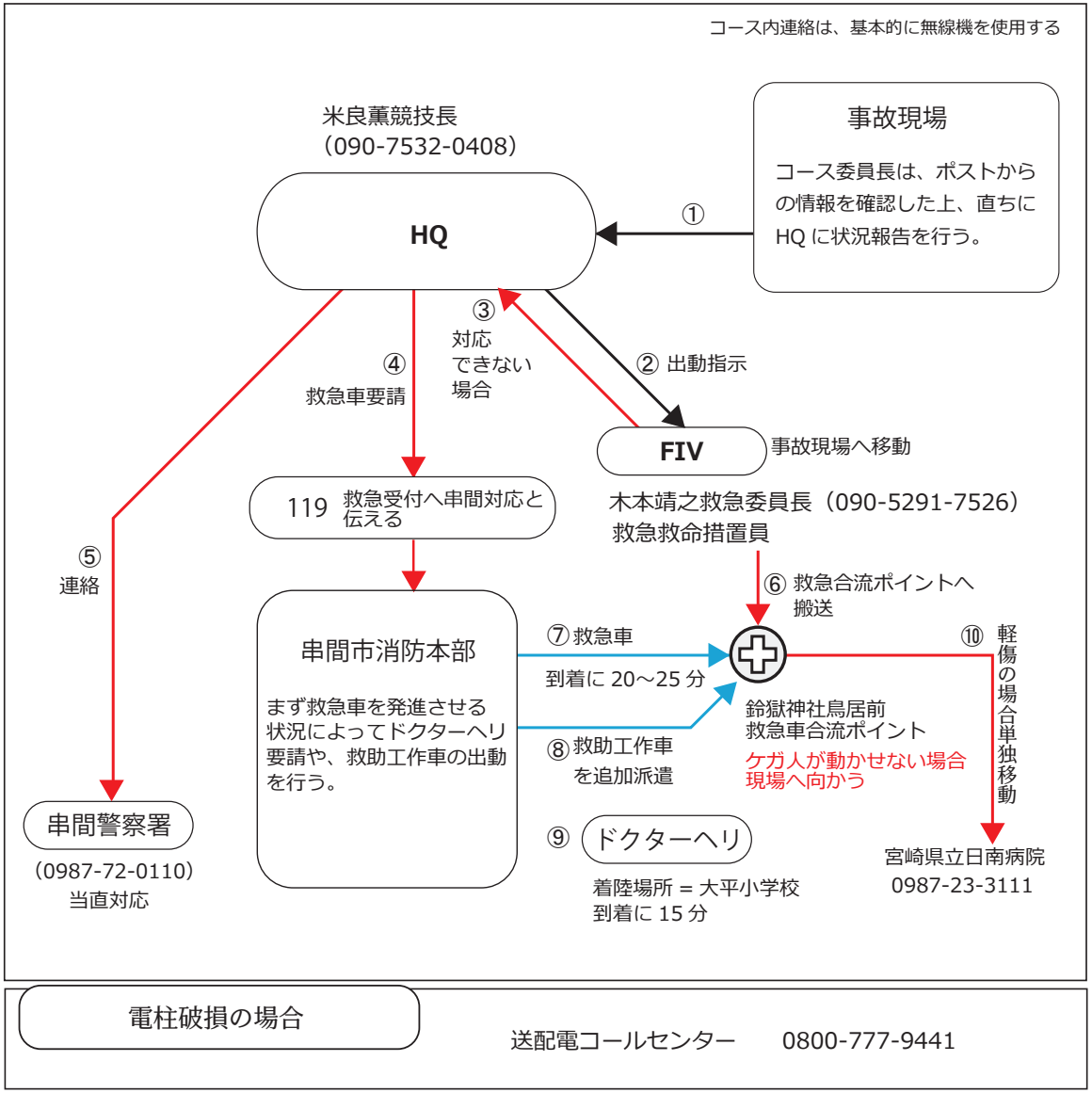
クシマヒルクライム 2026

Safety Plan



2026.10.19

緊急連絡先



緊急対策

負傷者の救出においては、現場のオフィシャルの報告によりＨＱにて最善な処置と最終的な負傷者の搬送方法を決定する。搬送方法は以下の事項に従い行います。

現場で怪我の対応ができる場合

応急処置後、個人、または FIV にて移動する場合は ⑩ 病院を利用する。

救急車が必要な場合

■救急車での搬送

救急車で負傷者を搬送する場合は、事故現場からＦＩＶ（搬送車）に負傷者を乗せて米良薫競技長からの指示により、⊕救急車合流ポイントまで向かう。

救急車は、ＨＱから ④ 出動要請します。

現場は、FIV の救急救命措置員土田孝男の指示を最優先にする。ケガ人が動かせない場合は、救急車や救助工作車を現場まで入れることも判断する。

尚、救急車はスタート方向から順方向で進入する。

緊急時の対応

1　ＦＩＶによる緊急連絡時症状の統一解釈

緊急度	ケガ及び熱中症の状態	対　応
レベル５	生死が伴う重大事故（意識がない）	ケガ人の対処を最優先に行動。 その後の競技進行は 競技長および審査委員会にて判断
レベル４	意識があるが大ケガ（骨折等）	
レベル３	意識があるが大ケガ（自分で歩ける）	ＦＩＶもしくは代理車両のスタートへの到着後、 競技長の判断により競技を再開
レベル２	現場で応急処置が可能なケガ	
レベル１	ステージ終了まで待てる軽いもの	FIV がスタート地点に戻ったのを確認し ステージコマンダーはＨＱへ連絡とともに競技を再開する
レベル０	けが人なし	

2　緊急時の連絡方法

コース内の各オフィシャルは、競技車の事故等における緊急事態が発生した時、何時如何なる場合でも「人命第一」であることを踏まえて行動をおこさなければならない。以下に、緊急時におけるその具体的役務を示す。

（１）後続の競技車が事故の報告に来たとき

ＳＯＳが出された場合、後続の競技車は救助および直後のラジオポイントへ連絡を行う。

■各ラジオポイントは、報告を受けた内容をＨＱに連絡する。

①カーナンバー

②事故の発生場所

③ケガ、火災等の状況

④ＦＩＶの出動の必要性

この判断は、すべてＨＱからの指示によりＦＩＶにより判断され、救助要請に係わる最終判断および通報はＨＱで行われる。

（２）ストップポイント

■ＨＱから不通過車両の確認指示を受けた場合、その後の競技車のフィニッシュ時に情報収集を行い、状況の確認が出来ない場合スタートに連絡し、競技中断の上不通過車両の捜索を行う。

この判断はＨＱで行い、基本的に３台の後続の競技車に不通過車両が確認できない時にコース委員長に対して発令する。

（３）捜索とは

■捜索時ＨＱの無線をすべてにおいて最優先とする。

■ＨＱから捜索指示を出し、スタートから近い順にラジオポイントへ連絡し不通過車両の通過確認を行い行方不明現場を特定しＦＩＶを捜索に向かわせる。

■ＦＩＶは不通過車両の捜索を行い、発見した場合クルーの状況によりその後の対応をＨＱに連絡する。

■ＨＱは、その状況によりその後の競技再開を指示する。

■スタート地点にＦＩＶが戻るまでは、競技を再開させない。

安全対策

コース内のスタート～ストップまでのオフィシャルはヘルメットを装着すること。

1　スタート及びストップポイントの役員及び緊急車両の配置	①スタートチーフオフィシャルは、タイムスケジュールに沿って安定した冷静な運営に心がける。 ②FIV 車両（搬送車）FIV ドライバー（救急委員長）・救急救命措置員 1～2 名 ③競技車がスタートラインに進入する前に、ヘルメット等の安全具チェックを行い記録に残しておく。（チェックリスト用意） （セットアップ） コース内トップのコース委員長または救急委員長は、スケジュールに従ってステージを競技のために閉鎖することと同時に、緊急車両の FIV（搬送車）等全ての車両および人員を、正確なポジションに配置して装備の点検を完了しておき消火器 2 本（4kg）を積んでおく。 スタート地点・ストップに消化器各 3 本（4kg）を設置。
2　ラジオポイント（ポスト）・無線	コース内のラジオポイント（ポスト）は、スタートからゴールの間に 2 ヶ所設定。これらラジオポイントでは無線通信を行ないます。 全てのラジオポイントにはレッドーフラッグ、消火器 1 本（4kg）を配置。 ラジオポイントの役割は、競技車両の通過の確認をすることにより、競技進行における不明車両やアクシデントの早期発見の情報源となります。また、緊急時はコース委員長の指示でオンコースでコースに入ります。 各クッションドラム管理ポイントに消火器各 1 本（4kg）を配置。
3　コースカー	コースカーの役割は、各ヒートの 1 号車の直前、またはコース委員長の指示があるときに走行し、コース内に居るオフィシャル配置や枝道の封鎖確認等、コース内の安全確認を行い、ステージ内のセットアップが完了している事をフィニッシュおよびスタートチーフに伝えること。
4　コース内でのトラブル（負傷者・走行不能車両の対処）	コース委員長は、ラジオポイント（ポスト）からの情報を確認した上で、レッドフラッグを発令！コース内の競技車を直ちに停める。 その後のトラブル対処を HQ に委任する。HQ は、FIV 車両（搬送車）からの状況を確認し、救急車の要請が必用かを判断する。 軽傷の場合は、救急救命措置員の指示で安全な場所へ搬送する。または、コースアウトしている車両の処理はコース内のレスキュー車両が必要に応じてコース外に搬出します。 コース委員長は、事故現場の状況を常に確認しながら、次の行動準備を行う。 ①HQ が救急車を要請した場合、FIV 車両がすみやかに移動できるように救急車合流ポイントまでの通路を確保する。 ②コース内の競技車をスタート地点に戻し、再スタートの準備を行う。 ③コース内の安全確認後に、競技再スタートさせる。
5　道路閉鎖	コースに直接アクセスしている全ての道路には、オフィシャルが配置しており、道路を完全に閉鎖します。全ての閉鎖場所はテープまたはパイロンで閉鎖をしています。また占有区間の各出入口には、通行止め等の占用看板を掲示しており、一般車両に対して案内し規制を行います。